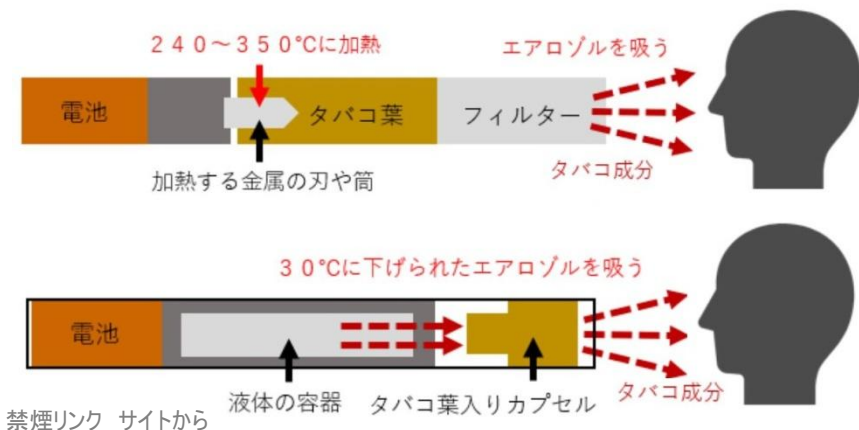


週刊 タバコの正体

近年、喫煙者は受動喫煙に気を使いながらタバコを吸わなければなりません。白い煙をまき散らかさないようにしながらタバコを手にする人は多いと思います。火がついている間ずっと副流煙は出っ放

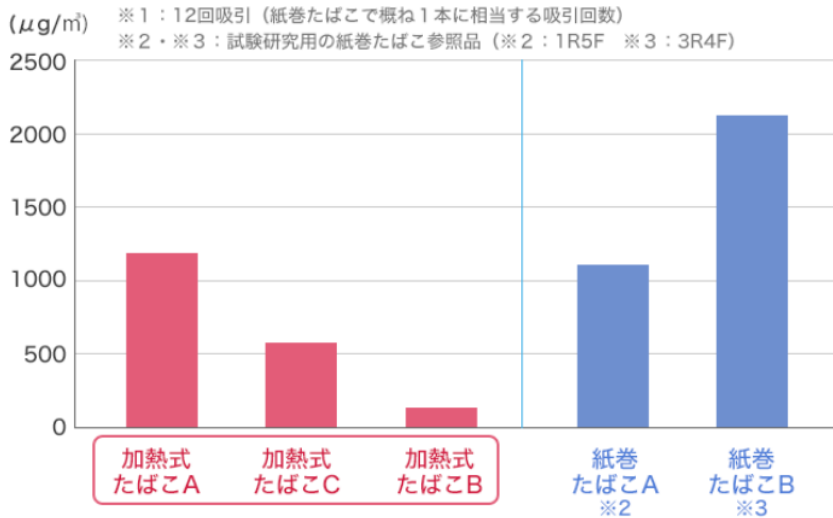


Club Sunstar HP コラムから



禁煙リンク サイトから

紙巻タバコ、加熱式タバコ※1の主流煙に含まれるニコチン濃度



Club Sunstar HP コラムから

しなので、さぞ気がひけることでしょう。

ところが最近、副流煙がでない「加熱式タバコ」が登場しました。左中図にあるように火を使わず電池でタバコの成分をエアロゾル（水蒸気を含んだ気体）にして吸い込む仕組みで、タバコの葉を加熱するタイプや液体を利用するタイプなどがあります。

このタバコは左上図のように手に持っているだけでは煙はでません。副流煙を気にしながら吸っていた喫煙者には魅力的なタバコなので、紙巻きタバコから加熱式タバコに変える喫煙者は増えているようです。

見た目の煙は格段に少なくタバコを吸っているように見えないうえ、周りの人達への迷惑度合いも少なくできるので、「紙巻きタバコはダメでも、加熱式なら大丈夫」だと思う人もいます。しかし、左下図に示すように加熱式に含まれるニコチン濃度は紙巻きと同程度です。

「他人への迷惑を気にかけて、自分自身の健康は気にしない」より、「自分の健康のためタバコをやめれば、他人への迷惑もなくなる」と思う人が増えて欲しいですね。

産業デザイン科 奥田 恭久